

令和7年度中学校一校化検討委員会 第3回会議 議事録

日時：令和7年10月21日（火）

19：00から

場所：潮来市役所3階 第一会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1） 令和7年度中学校一校化検討委員会学校評価アンケートについて

事務局：資料3ページ目をご覧ください。8月24日に、委員の方々が参加して市内各中学校の見学を行いました。こちらのアンケートは、見学の後に各委員の方々のご記入いただいたものです。当日ご参加いただけなかった委員の方にも、別日で見学をしていただいております。今回のアンケートの大きな柱は、学校施設、通学、周辺環境です。学校施設については9項目ございます。校舎については、潮来第二中学校の評価が高い結果となりました。屋内運動場・武道場については日の出中学校の評価が高い結果となりました。屋外運動場については、潮来第二中学校や日の出中学校の評価が高い結果となりました。テニスコートについては、日の出中学校の評価が高い結果となりました。駐車場・駐輪場・保護者送迎については、潮来第二中学校の評価が高い結果となりました。施設の建築年が新しいほど評価が高くなる傾向にあるとともに、送迎時の出入り口の導線が確保しやすいことも評価のポイントのようです。続いて、通学については6項目ございます。徒歩通学・自転車通学については、日の出中学校の評価が高い結果となりました。スクールバス・保護者送迎・公共交通については潮来第二中学校の評価が高い結果となりました。一校化した際のスクールバスの台数は10台程度であり、それに対応し得る施設という面でも、潮来第二中学校の評価が高くなったものと思います。通学時間・通学のしやすさ・利便性については、日の出中学校の評価が高い結果となりました。歩道や街灯が整備されていることが大きな評価ポイントのようです。最後に、周辺環境については5項目ございます。地理的環境・立地環境・道路状況については、日の出中学校の評価が高い結果となりました。公共交通・防犯については、JRの駅が近くにあることや交番が学校に隣接していることから、潮来第二中学校の評価が高い結果となりました。防災面については、高台に位置している潮来第一中学校の評価が高い結果となりました。

A委員：各委員の方々の点数は、自分の学区の学校の評価に含まれてはいませんか。

事務局：第1回会議で、自分の学区の学校の評価は行わないことと決定しております。アンケートの配布の際も、自分の学区の学校の用紙は配付しておりません。昨年度のアンケートでも、同じく潮来二中が選ばれる傾向にありました。

（２）校地の選定に関する協議

A委員：委員の方々、一人一人からご意見をいただきたいと思います。

B委員：校地については、アンケートの点数だけで決めるのでしょうか。

C委員：B委員と同じく、点数だけで判断するのかを知りたいです。市の予算によっては、教室の増築等もできるのではないのでしょうか。

D委員：仮に潮来二中に校地が決定したとしても、アンケートの点数が低い項目も存在します。それらを改善するためにどのくらいの予算が必要になるのかも大切だと思います。

E委員：牛堀中学区から潮来二中は遠いですが、スクールバスを利用するので問題はないと思います。各地区からの通学時間が分かると判断の基準になると思います。

F委員：立地については、一長一短あると思います。潮来二中の校舎の様子はとても良いと思いますが、それ以外の要素で分かっていない部分もあるので慎重な判断が必要だと思います。

G委員：見学した感想としては、潮来二中に票が集まるような気がしていました。

H委員：校地がどの学校になっても、今まで以上に通学路の整備、スクールバスの整備は進めてほしいと思います。事務局に質問なのですが、スクールバスの帰宅の便については、部活動をしている子としていない子で帰宅時刻が異なると思うのですが、二便出すということでしょうか。

事務局：そのように考えています。

I委員：合計得点が低くても、それぞれ良い点があります。点数で決まってしまうのは仕方ないと思いますが、今後の予算次第では整備を行うこともできると思います。

また、令和11年度に中学校が一校化することを知らない人もいます。進捗状況について周知したほうがよいと思います。

J委員：潮来二中の校舎は学習環境として適していると思いますが、スクールバスをきちんと回せるのかが不安です。

K委員：日の出中の拡張性のよさはいいと思いますが、廊下や教室はせまく、建て替えが必要で、多額の予算を必要とすると感じました。点数を見ると、潮来二中が校地として最適だと思います。

L委員：教育委員会の方針として、この評価方法をとっています。点数だけで決められる訳ではありませんが、点数が持つ意味は大きなものがあります。校地がどこになったとしても、マイナス面は出てきます。

M委員：潮来二中の武道館は古いです。そういったマイナス面を、今後改善していくべきだと思います。

N委員：校地がどこになったとしても、マイナス面の改善は必要だと思います。統合のメインは、生徒や保護者の方々です。校地が決定した際には、速やかに説明会等を開催すべきだと思います。

O委員：二中は発展性もあり、校地に最適だと感じました。

P委員：潮来二中が校地に最適だと感じました。学習環境がよく、子ども達が安全に楽しく学校に通えると思います。また、整備等に予算が一番かからない点もよいと思います。

Q委員：校舎は潮来二中がよいと思いますが、周辺環境は日の出中が一番だと思います。

事務局：質問があった点についてご説明いたします。

- ① 校地については、点数だけで決める訳ではありません。検討委員会から要望書を提出いただき、教育委員会で検討を行います。
- ② 進捗状況に関する周知ですが、今月の広報誌から広報を始めています。今後も続けていきます。
- ③ マイナス面の改善については未定です。検討委員会の後、統合準備委員会が設置される予定です。その中でより具体的な議論がされていくものと考えています。

います。

A委員：委員の皆様、ありがとうございました。本日出た意見を取りまとめて、事務局で要望書案を作成していきます。点数と皆様のご意見を集約すると、潮来二中が校地として最適と考えますがいかがでしょうか。

C委員：挙手による、意見の確認をしてはいかがでしょうか。

A委員：校地については、潮来二中としてよろしいでしょうか。よろしい方は、挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

A委員：それでは、校地の候補は潮来二中とします。

(3) これまでの経過と今後のスケジュールについて

事務局：令和7年7月9日、第1回中学校一校化検討委員会を開催し、委員の委嘱、経過説明、今後の進め方の確認を行いました。令和7年8月24日、第2回中学校一校化検討委員会を開催し、市内中学校の視察及び、校地に関するアンケートを実施しました。そして、その結果を基に本日、第3回中学校一校化検討委員会を開催しております。今後は、11月中に最大2回の検討委員会を開催し、要望書の内容について協議を行います。その後、委員長、副委員長から要望書を教育長に提出します。令和8年1月には、市として中学校一校化方針を決定し、令和8年3月には広報周知を行う予定です。

H委員：校地決定後の地域住民に対する説明会についてはどう考えていますか。

事務局：日時や場所は未定です。市としての方針決定の際は、それらも併せて決定していきます。

J委員：今後、広報周知を行っていくと、保護者等からの問い合わせも発生すると思います。そのような場合は、問い合わせ先として教育委員会を案内してよろしいのでしょうか。

事務局：構いません。教育委員会が代表してお答えします。

L委員：①今月の広報誌の中で、潮来小学校と津知小学校の統合に関する内容で「児童数が一桁になると複式学級になる」との表記がありますが、「2学年の児童数の合計が16名以下になると複式学級になる」の誤りではないでしょうか。

②今月の広報誌の中で、統合時期について予定という表記になっていますが、この会で統合時期について議論することはないという認識で間違いありませんか。

事務局：①おっしゃる通りです。誤解を招く表記で申し訳ございません。
(津知小学校の入学者数は2年連続で7名となる年があります。)
②その通りです。

R委員：職員から問い合わせがあった際は、本日の資料を見せてもよいのでしょうか。

事務局：問題ありません。

A委員：説明会の開催方法や対象はどのように考えていますか。

事務局：第2期学校適正化計画の説明会と同様に、地区説明会と保護者説明会を分けて開催したいと考えています。

B委員：要望書には、マイナス面の改善についても盛り込んでほしいと思います。

事務局：承知しました。

(4) その他

事務局：第4回中学校一校化検討委員会については、令和7年11月10日(月)に開催いたします。

4 閉会